

笛吹市水質検査業務委託仕様書

委託業務の概要

1 名称

笛吹市水質検査業務委託

2 目的

笛吹市内の河川における流水及び地下水を採取し、検査結果の分析を行い、笛吹市の環境行政の検討資料とする。

3 業務履行場所

笛吹市内

4 委託期間

令和7年9月30日から令和8年3月27日

5 業務委託料の支払い

完成払い

6 資格及び登録

本業務に従事する事業者は環境計量士（濃度）が在籍し、計量証明事業登録を行っているものとする。

7 委託業務の内容

（1）試料採取

河川については表1において指定された35か所で試料を採取する。また、調査時期は比較的、晴天が続いている日を選定し、流心付近で採取することとする。

地下水については表3において指定された57か所とする。

井戸所有者に対しては事前に連絡をとること。

（2）水質分析

河川については「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年環境庁告示第59号）及び「JIS K0102」で指定された方法とする。

分析項目については、表 2 のとおりとする。(9 項目)

地下水については「水質基準に関する省令」(平成 15 年 5 月 30 日厚生労働省令第 101 号、平成 27 年 3 月 2 日一部改正 厚生労働省令第 29 号)で指定された方法とする。

分析項目については、表 4 のとおりとする。(17 項目)

(3) 提出成果物

以下の分析結果を報告書にまとめ、A4 版サイズで 1 部提出すること。

- ① 関係環境基準値等との比較検討
- ② 過去 4 年間の調査結果との比較検討
- ③ 総括解析のまとめ
- ④ 検査項目ごとに縦軸を検出値、横軸を年度としたグラフを添付すること
- ⑤ 検査項目ごとに縦軸を検出値、横軸を調査地点としたグラフを添付すること
- ⑥ 現地観測記録書、現場採取写真を添付すること

8 業務の進め方

- (1) 受託者は業務着手に先立ち、本市担当者と調整のうえ、業務計画書(工程表)、業務責任者及び従事者一覧を提出すること。
- (2) 本業務の円滑な進捗を図るため、受託者は逐次、本市担当者と協議しながら作業を進めること。また、協議を行った際には、業務打合簿等を 2 部作成し、双方捺印による同意を得るとともに双方において保管すること。
- (3) 受託者は、業務の主たる部分を再委託してはならない。また、業務の主たる部分以外を再委託する場合は、市担当者と協議した上で下請届を提出し、了承を得ること。

9 委託業務の報告(成果物)

次に記載する様式、報告項目については、市担当者と協議すること。

(1) 委託期間満了時に提出する書類

ア 業務完了届 1 部

イ 業務完了報告書 1 部

報告書の様式については市担当者と協議すること。

ウ 電子データ 1式

当該業務の実施にあたり作成された電子情報全てを含むこと。

10 その他

- (1) 受託者は、この委託業務によって知り得た個人情報及び通常秘密とされる企業情報をこの事業の目的外に使用してはならない。これは、委託期間終了後も同様とする。
- (2) サービス利用者の個人情報等の秘密保持のため、セキュリティについて適切な管理を行うこと。
- (3) 本業務により生じた成果物の著作権は、市に帰属する。
- (4) 本業務の履行に当たっては、業務内容を十分に理解し、市担当者と連絡を密に取りながら誠実に履行すること。
- (5) この仕様書に記載されていない事項及び疑義が生じた場合は、市担当者と協議の上決定すること。
- (6) 本業務の履行に必要な費用のうち、仕様に記載の無い一切の費用は、受託者の負担とする。
- (7) 本業務の実施に伴い、第三者に与えた損害は、市の責めに帰すべきものを除き、受託者の責任において処理すること。